

2022 年度「受検者の傾向」データを分析し、クリアにする講座 「合格」への基礎ガイダンス

1 級合格を目指す方のために「受検者の傾向」データを分析しそれをクリアにして合格に向けどうすればよいかを解説するガイダンス講座				
東京	2022 年 7 月 9 日(土)	9 : 45～16 : 30	会場：東京都立産業貿易センター 浜松町館	受講料：10,000 円（税込み）
大阪	2022 年 7 月 2 日(土)	9 : 45～16 : 30	会場：神戸大学大阪 凌霜クラブ 梅田	
内容	<p>本講座では、指定試験機関である「協議会」から出された「受検者の傾向」を読み解き、どのような態度やスキルを身に着け、試験場でどのように対応すれば「合格」を勝ち取れるのかについて、当会からの合格者と不合格者、双方の振り返りを加味してお伝えします。1 級試験に合格するためにすべきこととしてはならないことなど、合格するための方法（あるいは合格できない原因）などをお伝えし、皆さんの疑問にお答えします。</p> <p>指定試験機関が「受検者の傾向」で示した内容を 1 つずつ紐解き、分析したうえで、合格に向けてどのような対応をすればよいかを解説します。合格者と不合格者の面談との差異を検証し、何を、どのように準備し、試験の場で何を、どうすればよいかをお伝えします。</p> <p>「傾向」をみて、それを分析すると、多くの受検者は、自分で用意してきた方法を、事例相談者の意向を置き去りにして、どんどん進めて行くことが指摘され、カウンセリングマインドの欠落が考えられます。また、目標は設定するものの、合意も得ず面談を進めていることも指摘されていて、誰のための支援かも問われています。</p> <p>技能検定試験では、事例相談者の話を聴き、支援することができる技能を「見える化」して、試験官に評価してもらうことが不可欠です。事例相談者の気持ちに寄り添っていることをどうやって試験官に理解してもらうか。試験は、評価区分と試験実施概要に示された内容を理解して実践（見える化）し、試験官に評価をしてもらうことで合格します。</p> <p>講座では、毎年、2 桁の合格者を輩出している当会の方法論と合格者・不合格者のデータを示し、何をどうしたらよいかをお伝えします。</p> <p>初学者・受検経験者で不合格の理由を解明したい方はぜひご参加ください。</p> <p>多くの人が混乱する試験に登場する、相談者・事例相談者・事例指導者はどんな役割かを明確にします。</p>			

受講することで、理解し身につく内容	
試験官が採点している評価区分	講座では、4 つの評価区分は何を示しているのか正しく理解し、ロールプレイでの実践にどのように反映させると効果的なのかをお伝えします。
不合格者が陥る要因	教える指導者と 1 級技能士に求められているスキルの違いの混乱。事例相談者への気づかせのスキルと知識不足

